

写真は上から順に、宮原駅前花壇、桜木花壇、指扇駅の花壇に咲くポーチュラカ、作業をしている与野支部の皆さん。

花があれば、心が和み
地域での会話がはずみます

「仕事や学校からの帰り道、駅に降り立つと、花壇に美しい花々が咲いている。お帰りなさいと迎えてくれる。そこでホッとしてもらえれば…」

「さいたま市花いっぱい運動推進会」の掛川繁会長は、駅前に活動の重点を置く理由をそう話してくれました。同会は、さいたま市の誕生を機に、各地域の花いっぱい運動のボランティア

団体が合併・設立したものです。

現在、岩槻区の団体も加わり、会員数は約2800人。市内各所で11の支部が活動しています。市民花壇づくりのため、市の用地を借りて週1回の維持管理活動を行ったり、見学会や市民向けの講習会、花いっぱいコンクールなどを開催しています。

作業の合間のおしゃべりの時間は地域の情報交換の場であり、コミュニティの活性化にもなっています。会では「ぜひ若い人も参加してほしい」と呼びかけています。

JR指扇駅前で活動中の指扇支部の皆さんにお話をうかがいました。

種から育てて、
成長を楽しんでいます



種から育てているので、成長の段階が楽しくてやめられないんです。毎年うまく咲くわけではなく、残念な思いをすることもありますが、「こんなふうに咲くんだったら」と想像しながら植えて、そのとおりに咲いてくれると本当にうれしいですよ。
(田辺幸子さん)

通勤でお世話になった駅に、
花を咲かせて恩返し



花が好きで、定年までずっと通勤で利用していた指扇駅に、恩返しのためこの活動に参加しています。いつも花壇をきれいに保つよう気を付けています。きれいにしていると、活しくなるのでしよう。うれしい

ことに、以前よりもゴミが減ってきました。

(小原邦彦さん)

花づくりから
いろんな出会いが生まれる



企業の皆さんも活動を支えています。JRの敷地内に道具を置かせてもらったり、水は駅前の建設会社さんからホースで引かせてもらっています。10年続けていますが、歩いている人から「いつもきれいですね」と声をかけられたときが一番うれしいです。
(指扇支部長・内野祥子さん)

「さいたま市花いっぱい運動推進会」では会員を募集しています。詳しくは、事務局を務める「さいたま市公園みどり課」(829-1423)まで。
※会では、家庭内緑化を目的に、球根を共同購入する「球根会員」も募集中です。ご家庭でガーデニングを楽しみながら、「花いっぱい」のまちに協力してください。

people x people

people×peopleコーナーは、まちづくり活動の情報交換の場です。このコーナーへの掲載を希望される団体または個人の方は、さいたま市都市総務課(TEL: 829-1394)までお問い合わせください。

花づくりを通してコミュニティができる

まちに花と緑を増やす「さいたま市花いっぱい運動推進会」からのメッセージ

花と緑の豊かなまちづくりの推進に向け、緑化意識の向上と普及啓発に励み、積極的に実践しているボランティア団体が「さいたま市花いっぱい運動推進会」です。今回は、駅前や公共花壇などをフィールドに活躍されている、花と緑を愛する皆さんからのメッセージをご紹介します。

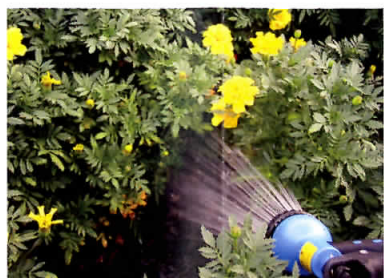


指扇支部の活動拠点である指扇駅前の花壇。



枯れかけた花は、そのままにしておくと、養分を奪ってしまうので、早めに取り除きましょう。取った花は、穴を掘って土に戻せば、ごみも出ないし、土の肥料にもなって「石」鳥。

終わりがけた花は、
早めに取り除くのがコツ



上から水をかけると、花びらに水滴がかかり、そこだけ日に焼けて点々と水の跡がシミになってしまいます。低い位置から根元に水をやるようにしましょう。

水やりはなるべく
花びらに水滴をかけないで

